

438

たけの平だ。大西昌子嬢から来信。

新聞=ニュースに更に戦局の變化らしいものか然し、WIO (War Information Office) がお設されて以来どの news も骨抜きと成つて了つたから、尚今は新聞の戦報は真面目に讀む氣はなれやい。

先日の帰国報告に、帰国せむと改め記入した者が二十名、帰国希望を棄つた者三名だと判明。要するに諸情勢を綜合すると、才二回船出帆は八月十日乃至二十日が至るべく推測される。

七月廿五日(土)

どういたせいか復又胃腸のギヤスに苦しむ。朝食と夜の食は、一日中食事を攝らぬ。

柳賀を病氣入院の為、同じ者が其の任として受諾する旨発表された。宮川君の admit. してゐるが、餘り長とやうな方が同族の如くしい、Leader かもつていつかりて来るやうにも用。宮川君の様な好人物かといふんが同胞 internees の犠牲になつて却向した。さういふや貴氣に欠けた男の admit. は唯に笑ひの的となるのである。

七月廿六日(日)

丁酉域 即ち Panama 及びハワイ出身者キャンプで各手工の展覧会が開催された。其から Area からも相争戦の手工藝品及び絵画が出展されたが、流石に

439

手藝
展覧
会

に主催者側の出品は自負するだけの幸人はおれに
居る。出品中僕が最も感嘆した物は、大塚隆
吉製作の蕨松葉手提袋だ。即ち松葉で巧みに
縫も丹念に縫った物を、更に蛇の形の記念品でも
ある。其他調刻品、図扇、下駄、等々よかよかの
苦心が窺はれる。中心裸体女の調刻品で、軍
用向への贈物として陳列されていたのは皮肉な極み
だ。尤もその出品者は真面目やった。竹槌及びマー
ジョン牌おどの手藝もあつた。木刻の中に素材の儘
の1.2の長方形茶盒があったが僕が欲しものだ。
真面目に依頼して製作者に交渉のし一隅を
認めて貰うつもりだが、果して得られるかどうか。

木曾友人から五月十二日付日本文の手書が来た。
七井エバキエエイン後認めたものである。

阿阿交換地と日米内門船が主眼点の折々
報道に接した。米内船が泊米するのは八月十
日位だと思はれる。

ポートランドの Assembly Center にも帰る希望者
が續々出てくるとの通信が丹厚君の家族からあつた。

七月廿七日(月)

午前、田田、松浦、鐘ヶ江諸君と共に勧めら
れるが儘に、Golf と遊ぶ。最近有春の手によって
成る簡単な approach の 9 holes だけ作られ
た。無論距離は何れも Putter でのみとて、概ねの